

# 多様な性について考えよう

誰もが「自分らしく」生きられる社会へ

## 性のあり方（セクシュアリティ）は多様

性のあり方（セクシュアリティ）は主に4つの要素の組合せで形づくられていますが、この組合せは多様であり、一人ひとり異なります。

### 生物学的な性

（からだの性）

性染色体、内・外性器の形状などにより識別された性

### 性的指向

（好きになる性）

どの性別が恋愛の対象となるのかを表す性

### 性自認

（こころの性）

自分の性別をどう認識しているかを表す性

### 性表現

（表現する性）

言葉づかいやしぐさ・服装などで個人が表現する性

## 「SOGI」とは

性的指向と性自認の頭文字をとった言葉で、全ての人の性のあり方（セクシュアリティ）を考える際に使われます。

## 「LGBT」とは

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取った言葉で、性的マイノリティの総称の1つです。クエスチョニング（Questioning：性的指向や性自認を決めたくない・わからない人）やその他の様々なセクシュアリティを含めて「LGBTQ+」と表現されることもあります。

性的指向 (好きになる性) Sexual Orientation	Heterosexual	ヘテロセクシュアル	異性愛者
	Lesbian	レズビアン	女性の同性愛者
	Gay	ゲイ	男性の同性愛者
	Bisexual	バイセクシュアル	両性愛者
性自認 (こころの性) Gender Identity	Asexual	アセクシュアル	恋愛感情や性愛の感情を抱かない人
	Transgender	トランスジェンダー	からだの性とこころの性が一致しない人
	Cisgender	シスジェンダー	からだの性とこころの性が一致する人
	Xgender	エックスジェンダー	心の性を男性・女性のいずれかとは明確に認識していない人（例）両性、中性、無性など

他にも様々なセクシュアリティが存在しています。一生の中で変化することもあります。

からだの性とこころの性が異なる人、好きになる性が同性や両性に向いている人などは、人口に占める割合が少ない※1 ため、「性的マイノリティ」※2（少数者）」と呼ばれることがあります。

※1 調査方法や調査対象によってその数値は異なりますが、各種調査において人口の約3～10%が性的マイノリティであるとする結果が公表されています。

※2 マイノリティであることで不平等な扱いを受ける人や差別の対象になっている人をあらわして使われることもあります。

## 性的マイノリティが抱える困難（一例）

一人ひとりのニーズを把握して対応することが大切です。

### 学校で…

- 「女みたい・男みたい」とからかわれたり、無視や仲間はずれなどのいじめを受けたりする
- 制服、水着、トイレ、更衣室などが、からだの性で分けられていて抵抗を感じる

### 職場で…

- 性的指向が異性に向いていることを前提に話をされる
- 同性パートナーに休暇制度や福利厚生制度が適用されない

### 社会生活で…

- 医療機関の受付で、フルネームで呼ばれるため受診しづらい
- 地域活動の中で、性自認や性的指向についての差別的な発言が繰り返され、参加しにくい

## カミングアウトとアウティング

### カミングアウト\*を受けたら…

- 勇気を持って話してくれた思いを受け止め、最後まで丁寧に話を聞きましょう。「自分のことを知ってほしい、理解してほしい」という思いが込められています。
- 自分の「普通」を押しつけないようにしましょう。
- 「誰に話しているのか」「誰に話していいのか」を確認しましょう。

※カミングアウト：性的指向や性自認を他の人に打ち明けること。

### アウティング

本人の同意なく性的指向や性自認を他の人に伝えることを言います。SNSなどで不特定多数に情報を流す行為もアウティングです。アウティングにより、本人が深く傷つき、それまでの生活が送れなくなることもあります。

カミングアウトを受けたら、たとえ善意でも、本人の同意なく、他の人に伝えることは絶対にやめましょう。

## 今日からできること

- 多様な性を含む人権について、書籍などで理解を深める。
- 異性愛を前提とした質問(女性に対して「どんな男性が好き?」と聞くなど)や性別を詮索したり、見た目ではほかの人の性のあり方を決めつけたりしない。
- 性的マイノリティは身近にいるという意識を持ち、多様な性に配慮した言葉を使うよう心掛ける。

「ホモ」「オカマ」「レズ」など差別的な言葉を使わない。  
「彼氏・彼女」「旦那さん・奥さん」→「恋人」「パートナー」に言い換える



### アライ(Ally)の存在

性的マイノリティを理解し、支援するという考え方や、その考え方を持つ人のことをアライ(Ally)といいます。性的指向や性自認にかかわらず自分らしく生きられる社会の実現にはアライの存在が重要です。6色のレインボーカラーのグッズを身につけること等でもアライであることを表明できます。

## 「自分らしく」生きられる社会への取組

### 相談窓口

#### ○専門相談窓口

##### とちぎにじいろダイヤル

性的マイノリティに関する電話相談

**028-665-8724** (17:30~19:30)

毎月第1・第3金曜日(祝休日及び年末年始除く)

##### よりそいホットライン(24時間無料電話相談)

性別の違和や同性愛などに関わる相談

**0120-279-338** / 専門回線4番

##### 東京弁護士会

セクシュアル・マイノリティ電話法律相談

**03-3581-5515** (17:00~19:00)

毎月第2、第4木曜日(祝祭日の場合は、翌金曜日)

一人で悩まず相談しよう。  
秘密厳守。匿名相談可。

その他の相談窓口はこちらから



#### ○県内の公的な相談窓口

##### みんなの人権110番(人権に関する相談)

**0570-003-110** (8:30~17:15)

月曜日~金曜日(祝日及び年末年始を除く)

##### 栃木労働局雇用環境・均等室

職場におけるセクハラ・パワハラについての相談

**028-633-2795** (8:30~17:15)

月曜日~金曜日(祝日及び年末年始を除く)

## とちぎパートナーシップ宣誓制度

とちぎパートナーシップ宣誓制度とは、人生のパートナーとして協力しあうことを約束したお二人(一方又は双方が性的マイノリティ)に県が「とちぎパートナーシップ宣誓書受領カード」を交付する制度です。

詳しくは、県ホームページをご覧ください。▶

